No.224

おけがわ 市議会だより



9月定例会

令和8年（'26）年11月1日発行



「第19回議会報告会」（昨年度の様子）

主な内容

◎９月定例会
議案審議（決算審議等）
と採決結果 ２～４ページ
◎一般質問（13人）
５～11ページ
◎パブリック・コメント
について 11ページ
◎意見交換会について
12ページ
◎議会からのお知らせ
編集後記ほか 13ページ
◎議会報告会のお知らせ
14ページ

◆ ９ 月 定 例 会 日 程 ◆

8月27日	開会、市長の行政報告、委員会の委員長報告、市長提出議案の上程及び説明、市長提出議案の質疑及び委員会付託
1日	一般会計歳入決算質疑
2、3日	総務常任委員会
4、7、8日	民生経済常任委員会
9、10日	建設文教常任委員会
11日	一般質問（細谷・岩﨑・山中・仲又）
14日	一般質問（糸井・砂川・浦田・渡邉広美・榊）
15日	一般質問（近本・北村・須山・渡辺まや）
24日	市長提出議案の委員長報告・質疑・討論及び表決、委員会（所管事務調査）の委員長報告、市長提出議案（決算の認定について）の総括質疑、討論及び表決、市長追加提出議案の上程及び表決、議員提出議案の上程、質疑、討論及び表決、閉会

発行／桶川市議会 編集／議会だより編集委員会 埼玉県桶川市泉1−3−28 電話 048-786-3211(代) FAX 048-787-5410

この議会だよりは、再生紙を使用しています。

９月定例会 議案審議

令和８年９月定例会は、８月27日から９月24日まで29日間開催されました。
今定例会では、市長提出議案１３件、議員提出議案１件が提案され、審議されました。

令和７年度一般会計・特別会計・事業会計歳入歳出決算について　認定となりました

一般会計、特別会計及び事業会計の歳入歳出決算の認定にあたり、総務・民生経済・建設文教の各常任委員会が、合計７日間にわたり、それぞれの所管事務について慎重審議を行い、執行部に対し次の１９項目について指摘・要望しました。なお、その経過及び結果は定例会最終日に報告され、反対討論がありましたが採決の結果認定となりました。

総務常任委員会からの指摘・要望事項

- 今後も市の組織・機構の見直しを図り、限られた人員の効率的配置により、適切な市民サービスを行う様求める。
- 桶川市職員の時間外勤務が特定の部署に集中している状況を踏まえ、職員の時間外勤務や業務量を部署ごとに把握・分析し、DXの推進、適正な人員配置や増員により業務の改善・効率化を進めることを求める。
- 若手職員をはじめ、現場の職員が日常業務の中で感じている課題や改善提案を政策形成につなげられるよう、庁内公募や政策提案制度など、職員の主体的な提案を生かす仕組みの充実を図ることを求める。
- 公共施設適正配置を行い、指定管理料などの財政負担を軽減することを求める。
- 災害時の道路や鉄道の寸断、職員による対応の遅れ等を想定し、避難所に必要な防災用備品を平時から分散備蓄するなど、各避難所で自立して対応できる体制の整備を求める。

民生経済常任委員会からの指摘・要望事項

- 障害児・障害者支援の需要増と重度化を踏まえ、予算措置・サービス体制・事業所の質を総合的に強化すること。
- 障害者、高齢者の相談事業について、市民に分かりやすく相談しやすい案内や情報提供に努めること。
- 民生委員・児童委員の役割の重要性を認識し、意見を取り入れるとともに、定数確保のため､広報媒体を活用した周知を継続すること。
- 東側基幹子育て支援施設整備においては、整備実績と知見を反映し、子育て環境の充実に資するとともに、統合による保護者の負担を減らすよう、施設づくりを推進すること。
- 産業振興に力を注ぎ、農業振興では道の駅で販売する市内農産物の拡大、就農者の支援、有機農業への積極的な取組を進め、市内商工業の振興では、道の駅に市内生産品の拡大や新規参入に努めること。
- 近年のゲリラ豪雨を真剣にとらえ、地球温暖化対策について、市民と協働し、より積極的、具体的な取組を推進すること。
- 地域資源を守るため、市内の自然環境の把握と保全に取り組むこと。
- 高齢者、障害者を対象とした緊急通報システムが、固定電話の所有者を条件としている現状に鑑み、携帯電話との接続も可能にするよう、早急に改善すること。

議案審議

建設文教常任委員会からの指摘・要望事項

- 多額の不用額が生じている予算科目が見られることから、予算を適切に見積もるとともに、適正な執行管理に努めることを求める。
- 緊急修繕工事において、判断基準を設け、公平で透明性のある工事に努めることを求める。
- 桶川駅東口整備について、着実な事業推進を図るとともに、駅周辺の利便性や回遊性を高め、にぎわいの創出につながるまちづくりを進めることを求める。
- 教職員の負担軽減について、学校が担う業務を整理し、外部人材等の活用を進め、教職員が児童生徒と向き合い、教育活動に専念できる環境整備を求める。
- 部活動は、教育の一環として消滅することのないように意識改革と地域展開に努めることを求める。
- 文化振興基金の具体的な活用方法を、積極的に検討することを求める。

条例等

各常任委員会に付託された条例等の審査の際の質疑について、主なものは次のとおりです。

総務常任委員会

桶川市認可地縁団体印鑑条例の一部を改正する条例

地方自治法施行規則の一部改正に伴い、必要な改正を行うものです。

（改正概要）

地方自治法の規定に基づく市長の認可を受けた地縁団体（町内会）印鑑登録や証明に関し、地方自治法施行規則の改正に伴い、引用している条文の位置づけが整理されたことから、引用部分を改めるものです。

問 この度の改正に伴う、市民や団体側への負担はないか伺う。

答 特に大きな負担等はありません。

桶川市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例

特別休暇の取得に関し必要な事項を定めるものです。

（改正概要）

職員が、裁判員・証人・鑑定人・参考人等として国会、裁判所、議会、その他官公署へ出頭する場合の必要と認められる期間、特別休暇を取得できるようになります。

問 弁護士などと打合せを行う場合は、休暇の対象となるか伺う。

答 対象になりません。

問 プライバシーへの配慮を伺う。

答 厳密に守られております。

問 取得可能日数の上限があるか伺う。

答 上限はありません。

補正予算

令和8年度一般会計、特別会計及び事業会計の補正予算は、議会最終日に本会議で審議が行われました。

主な質疑は次のとおりです。

【一般会計】

《駅東口開発推進事業》 2,588万8,000円

問 代替地の場所はどこか伺う。

答 駅西口の線路と西口駅前広場の間の花壇の部分です。

問 これまでの用地買収は、補償方式で行ってきたが、市有地と交換になったいきさつを伺う。

答 多くの市民の皆様から、駅東口を安全に利用できるよう一日も早い完成のご要望を頂いています。今回の対象となる権利者は、かねてより駅至近の代替地を希望されていましたが、駅東口周辺に代替地を提供することができず、駅西口周辺の当該地のみが唯一、条件に合致しました。市全体のまちづくりの発展を見据え、合理性があるものと、判断しました。

問 今回のみ代替地とするのは、ルール違反でないか、伺う。

答 普通財産である市有地を公共の用に供するものであること、土地の交換で、価格差が5分の1以下であることから、「財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例」に基づき、市と権利者で交換することができます。

《桶川サン・アリーナ（サブアリーナ）空調整備事業》 12,700万円

問 事業の内容について伺う。

答 ガスヒートポンプ式の空調設備と館内上部の空気の対流を促進するため、サーキュレーター及び換気扇を併設します。

問 市債の内容について伺う。

議案審議／採決結果

答　桶川サン・アリーナが市の指定避難所であることから、緊急防災・減災事業債を活用します。国から地方交付税の算定に際し、元利償還金70％を支出額として計上できます。

《いじめ事案検証会議謝礼》　10万5千円

問　検証会議の委員には、どのような方が選任されるか伺う。

答　外部委員では、学識経験者を2名、人権関係に専門的な知識を持つ方2名、保護者を代表しPTA代表1名を想定しております。

問　既に委員の人選は行われているのか伺う。

答　この事業に関係する若しくは、回答ができるような方々を、現在、教育委員会で考えているところです。

《富士見通り線地質調査事業》　700万円

問　調査が必要となった経緯と今後のスケジュールを伺う。

答　当該道路アンダーパスにおいて、道路パトロールにて、擁壁の目地から隆起したものや、漏水が確認されたことから、擁壁背面の状況を確認するため、ボーリング調査を行うものです。

スケジュールは、今年度中にボーリング調査を実施し、問題がなければ令和9年度に目地修繕に関する設計委託を、その後、修繕工事を予定しています。

問　調査期間中の道路の通行への影響について伺う。

答　調査は側道で行いますので、富士見通り線自体が通行止めになるなどの大きな影響はありません。

問　今回の調査では、具体的には何を調べるのか伺う。

答　擁壁背面が空洞となっていないか状況を調べるもので、15メートルのボーリングを3ケ所実施の予定です。

議員提出議案

「南小跡地の利活用を公募による市民参加で決定するよう求める決議」の提案がありましたが、賛成少数で否決となりました。

（要約）

本年3月、南小跡地等施設整備計画が3案示された。いずれも緑地、駐車場、駐輪場に大幅なスペースを割いた計画となっている。～中略～

今年度の事業で民間活力導入調査をコンサルタントに委託しており、先の計画案をもとに進める内容となっており、議会の意見が反映されていないことは残念である。

この計画案は、賑わいの創出や経済効果が限定的で、市民の求める計画とはかけ離れている。

よって、市民の貴重な財産である南小跡地の利活用は、施設計画や財源、ライフサイクルコスト、将来性などを明らかにした計画案について公募を行い、市民と議会および学識経験者の参加による、公開した選定を行って進めるよう、求めるものである。

人事関係

人権擁護委員を承認

石川　陽子　氏

義援金を送りました。

桶川市議会議員会（議員互助会）は、熊本地震の被災者へ日本赤十字社を通じ、義援金17万円を送りました。

9月定例会で審議された議案とその結果

◆次の議案は全会一致で可決・認定・承認されました。

議案番号	議　案　名
第33号	令和7年度桶川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
第34号	令和７年度桶川市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
第35号	令和７年度桶川市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
第36号	令和７年度桶川市公共下水道事業会計決算の認定及び剰余金の処分について
第37号	令和８年度桶川市一般会計補正予算（第３回）
第38号	令和８年度桶川市国民健康保険特別会計補正予算（第１回）

議案番号	議　案　名
第39号	令和８年度桶川市介護保険特別会計補正予算（第２回）
第40号	令和８年度桶川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１回）
第41号	令和８年度桶川市公共下水道事業会計補正予算（第１回）
第42号	桶川市認可地縁団体印鑑条例の一部を改正する条例
第43号	桶川市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例
諮問第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（石川 陽子 氏）

◆ 賛否が分かれた議案は次のとおりです。　※議長は採決に加わりません

議案番号	議　案　名	議決結果	新政会					おけがわ未来		立憲、国民、無所属の会				公明党			ともに生きる会		無会派	
			渡辺まや	砂川和也	糸井政樹	岡安政彦	江森誠一	榊萌美	山中敏正	近本あんな	細谷文人	佐藤洋	にいつま亮	仲又清美	渡邉広美	岩崎隆志	北村あやこ	浦田充	渡邉光子	須山陽一朗
第32号	令和7年度桶川市一般会計歳入歳出決算の認定について	可	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
議第2号	南小跡地の利活用を公募による市民参加で決定するよう求める決議	否	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×

※表の見方　賛成：○　反対：×　欠席：欠　除斥：除　退席：退

除斥…議員は直接の利害関係にある議事には参加できないとする制度のこと。関係事案の審議に際してはと退場しなければならない。

退席…議員個人の判断で、採決前に議場の外へ出ること。

一般質問

一般質問の内容については、議員本人が編集したものです。

桶川駅西口のペデストリアンデッキの耐震について



細谷　文人

立憲、国民、無所属の会

問　6月議会では、駅西口のペデストリアンデッキは、「新耐震基準を満たしている」と伺ったが、この認識は変わっていないか。

答　新耐震基準で設計されていることが確認できています。

問　当ペデストリアンデッキは、建築物ではなく工作物であるため、「建築物の耐震性を示す新耐震基準を満たしている」とは言えないのではないか。

答　建築基準法で設計しているため、新耐震基準を満たしていると判断しております。

問　当ペデストリアンデッキは、建築物、工作物のどちらか。

答　建築物ではなく、土木構造物として取り扱っています。

問　震度6強から7程度の地震に対して、倒壊・崩壊・落橋しないと保障されているか。

答　震度6強程度に対しては、人命に危害を及ぼす被害を生じさせないことを目標とする設計になっています。

問　それでは、震度7の場合は、倒壊等の甚大な被害が発生するということか。

答　震度7については、今手元のほうでは確認できていないところです。

問　今後、耐震補強の方向性はあるか。

答　土木構造物の耐用年数は一般的に50年とされ、当ペデストリアンデッキは設置から38年が経過していることから、今後耐震診断も含めた、駅西口リニューアルを検討してまいりたいと考えております。

市長公約の産婦人科誘致について

問　産婦人科医の成り手不足や他の自治体の誘致状況などから、誘致は非常に難しい。誘致の白紙化を検討したらどうか。または、増加傾向にある助産師を活用して、市内の既存の病院やクリニック内に「院内助産所」を設置するなどの代替案を考えてはどうか、市長に伺う。

答　非常に厳しい状況ですが、募集は継続をしつつ、妊産婦への支援策を図ってまいりたいと考えております。

問　いつまでに、誘致すると考えているか。

答　可能な限り早期に誘致できるよう努めてまいりたいと、考えております。

AIを活用した「孤独死ゼロ」を目指す福祉行政の構築について



岩﨑　隆志

公明党

問　外部専門知見を活用し、職員の手を新たに煩わせることなく、高齢者の孤立リスクを精密に「未来予測」することで「孤独死ゼロ」の温かい市政経営へ転換する決意を伺う。

答　福祉行政において、社会的孤立の早期発見と孤独死の防止は重要な課題です。今後は、民生委員などの地域活動による日常的な見守りに加え、リスク予測や異変の早期察知には、AIやデータ分析を活用することが有効です。今後も地域のつながりや関係者との連携を深めながら、「孤立死ゼロ」を目指して高齢者支援を進めてまいります。

問　職員が、より「市民の困りごと」に直接向き合える時間に充て、テクノロジーで「人のぬくもり」を最大限化する行政DXを実現しないか。

答　福祉行政におけるDXの本質は、AI等のテクノロジー活用で生まれた時間を市民との直接の対話や伴走型支援に充てることにあり、今後は従来の相談体制を継続しつつ、ぬくもりを最大化する福祉行政DXの先進事例の調査研究を進めてまいります。

広域交通網としての地の利を100億の富に変える予測戦略

問　未来技術となるAIを活用し、地域特性から交通や物流需要などを予測し、企業誘致など土地利用のゾーニングに生かすことについて、本市の考えを伺う。

答　本市の第六次総合計画では広域交通網の結節点としての地の利を生かした産業施設の立地誘導を進めており、ご質問のAIを活用した土地利用のゾーニングについても、地域の将来像や効果を分析する有効な手法であると認識しています。一方で、AIによる予測分析は利用するデータや条件によって結果が異なる面もあるため、土地利用のゾーニングを検討する際の参考データの一つとして活用してまいります。



一般質問

一般質問の内容については、議員本人が編集したものです。

桶川駅西口の利便性向上に向けた『エスカレーター設置』について



山中　敏正

おけがわ未来

問　移動の円滑化の「質」を高める必要性の見解を伺う。

答　エスカレーターの設置の必要性について認識しています。

問　今後のまちづくりとの連動について、単独事業として設置は可能であるのか伺う。

答　駅西口リニューアルの際に、レイアウト全体の見直しを検討する予定ですが、計画策定後、エスカレーターを先行することに支障がない場合は、単独事業として実施することは可能であると考えています。

問　事業化に向けた各フェーズの想定期間について伺う。

答　駅西口の基礎調査やレイアウトの基本設計に2年程度、実施設計やJR東日本との協議に1年程度、工事に1年から2年程度の期間を要するものと想定しています。

問　一刻も早い設置を望む高齢者や、子育て世代などの切実な声を市長としてどのように受け止めているか伺う。

答　駅東口の整備に目途が立ち次第、早期に西口リニューアルの基礎調査に着手し、エスカレーターの先行設置も含めて検討を進めます。

桶川市における空き家の現状と課題について

問　住宅・土地統計調査の空き家数1,690戸、空き家率4.9％に対して、どう評価し、危機感を持っているのか、市の見解を伺う。

答　空き家数・空き家率ともに、埼玉県では、中間に位置していますが、今後、少子高齢化を背景に、増加が懸念されることから、総合的な対策を行う必要があると認識しています。

問　空き家放置に伴う、税金面のリスクについて伺う。

答　市から『特定空き家』等として、勧告が行われた場合、それまで適用されていた固定資産税・都市計画税の税額軽減の特例措置が解除されます。

空き家の利活用について

問　『農地付き空き家制度』について、国の「地域未来交付金」の活用に向けた、今後の見通しについて伺う。

答　農地付き空き家の管理・マッチングアプリ構築に「デジタル実装型」を適用し、交付金活用を検討します。

5歳児健診の導入について



仲又　清美

公明党

問　昨年、国が令和10年度までに『5歳児健診』の導入を目指すとしたことで、県内の自治体の約70％が導入を始めることがわかった。再度、12月議会で本市の考えを伺った際、「国が目指す10年度には、導入できるよう準備します。」との答弁だった。今議会では、さらに前倒しの「9年度、開始を目指します。」と、前向きの答弁を頂き感謝申し上げる。この間のご尽力について伺う。

答　『5歳児健診』は、健診後の支援が重要とし、支援体制を整えるための検討会を行い、必要な専門職の確保を各関係機関と調整を図り、地区医師会に依頼して、9年度の開始に向け、準備を進めて参ります。

問　本市と同じ地区医師会の北本市は、今年度導入する。本市より、さらに前倒しができる特別な理由は何か伺う。

答　北本市は、市内の小児科を標榜する医師1名が協力し、直接携わる方法で準備が始められ、早期導入となったと伺っています。本市は、行動観察の実施などにより『5歳児健診』の時間が長くなるものと想定し、健診時間の効率化を図るため、地区医師会には、2名の健診医を依頼し、支援体制を整えて開始する意向があります。

問　本市は、万全を尽くし、よりバージョンアップしてやると受け止めて良いか伺う。

答　ご質問のとおり、万全を尽くしてまいります。

問　間もなく就学準備の時期です。発達が気になる子どもと保護者が安心して就学できる支援を伺う。

答　今年度から、4歳児全員に、発達に関する質問用紙を送付し、支援が必要な方を早期に把握し、就学までの支援に繋いでまいります。

災害に強いまちづくりについて

問　7月16日の夜、倉田190件、小針領家130件、坂田東1丁目10件の停電が発生した。人工呼吸器を使う子どもがいて復旧までバッテリーが持つか心配された。想定外の停電がいつ起こるか分かない。市ができる対策を伺う。

答　防災備品として複数の充電器やポータブルバッテリーを指定避難所等に配備し、迅速に活用できるよう体制を整えております。

議員名の下にＱＲコードを掲載しました。スマートフォンなどのアプリで読み取り、各議員の一般質問を映像でご覧いただけます。

地域の担い手である市内業者や生産者の発展について



糸井　政樹

新政会

問　今年度「桶川市くらし応援商品券」が発行されたが、過去に発行された商品券について、経済効果の検証、売上げについてのアンケートは行われたのか。

答　商品券の発行が地域における消費へと着実に繋がり、地域経済の活性化に一定の効果があったものと認識しています。また、売上げのアンケートは商品券の取扱店舗に対し行い、回答された店舗のうち4割が「売上が増加した」6割が「変わらない」となっています。

問　取扱店舗では換金に行くのが大変で、振込まれる期間が長く回数も少ないことから仕入れも出来ないとのお話もある。換金期間を過ぎてしまい、3万円を超える金額を無駄にしてしまった、といった例もある。このような市内業者さんの意見はどう受け止めるのか。

答　今回指摘いただいた換金方法や課題について、検討します。

問　市内で同じものを生産していたり、小売り業の同業者もたくさんあるが、市からの応援体制などは公平公正に行われているのか。

答　商工業、農業などの事業者支援については、公平公正を原則としています。商工業では桶川市商工会と連携を図り、農畜産業では個別に対応を行っています。

また、各種農業者団体に対し、補助金交付や事業支援を行っています。

問　夏前に行われるべに花まつりでの各ブースの振り分け、配置はどのような基準で決定されているのか。

また、キッチンカーの配置はどのように決定しているのか伺う。

答　調理を伴うもの、物販のみで分けており、さらに隣同士が同類にならないよう配慮しています。

キッチンカーの配列は縦列駐車になることから、到着順となっています。

問　道の駅は多くの税金を投入したことから、間違いなく市民のものであると認識している。運営管理者には市内業者さんの参入の門戸を広げてもらいたいが、見解を伺う。

答　道の駅での新規参入は、特に制限、条件などは設けておらず、広く門戸を開いています。気軽に道の駅や市の産業観光課を通じてお問い合わせをいただければと考えています。

暮らしを支え未来をつなぐ循環バス



砂川　和也

新政会

問　これまで循環バスの道の駅乗り入れは、開業後の様子を見ながら試走を行い、検討する説明だった。乗り入れ中止に至った経緯と、会議の中でどのような審議が行われたのか伺う。

答　第21回地域公共交通会議において、市内循環バス2社による試走により複数の時刻表パターンを作成し、その結果生じ得る遅延や減便、乗降者数に与える影響など、議論していただきました。その結果、現在日常的に利用されている方の利便性を鑑み、道の駅敷地内には乗り入れない方針を決定しました。

第22回地域公共交通会議にて、道の駅へのアクセスの代替案として道の駅から約200メートルのところにある生涯学習センター入り口バス停に、道の駅北入り口の名称を併記することになりました。

問　拠点をつなぐべき循環バスは、通勤や駅へのアクセスを優先する結果だった。

第六次総合計画では、拠点機能の充実とその拠点を公共交通ネットワークでつなぐ集約型都市構造の形成が示されており、歩いて暮らせるまちづくりの根幹だ。この第六次総合計画と循環バス再編計画の優先順位と循環バスの拠点間ネットワーク形成の考えを伺う。

答　総合計画は市の最上位計画であることから、循環バスルートの検討において、地域生活拠点などを結ぶ公共交通ネットワークの充実は極めて重要であると認識しています。

今回は、こうした公共交通ネットワークの充実を踏まえ、利用者の利便性など多様な要素を総合的に勘案したところです。

問　バス停名称に、旧いずみの学園前に決定する説明があった。このバス停名に泉福寺を採用することで、地域の魅力発信や資料館との連携等、桶川市に寄与すると考えるが、如何か。

答　バス停名称は、これまでの利用者に分かりやすいようにと旧いずみの学園前が提案され、決定しましたが、泉福寺の提案については、次回の公共交通会議の議題として検討します。

問　東部地区開発に伴う循環バスの影響が懸念されるが如何か。

答　インター周辺東部地区開発等に伴うルート見直しは、今後検討が必要となることから、地域公共交通会議にて、協議していきます。

一般質問

一般質問の内容については、議員本人が編集したものです。

配慮を必要とする市民は、指定避難所に避難できるのか？



浦田　充

ともに生きる会

問　各指定避難所のバリアフリーへの対応状況を伺う。

答　非常用電源は、指定避難所のうち、小学校及び中学校に常設しています。その他の避難所は、市防災倉庫で一括管理しています。

多目的トイレは、加納公民館を除き、設置されています。

要配慮者向けのスペースは、避難があった場合には、必要となる環境に応じて確保します。

問　多数の要配慮者で、多目的トイレが足りない場合はどのような対応をするのか。

答　避難所として設備の不足については課題です。現状では、近隣施設の利用などを想定しています。

問　そのような状況で、せっかく避難所に避難しても、また別の場所へ移動させたら、避難所に避難する意味がない。安心して避難できないのではないか。

答　課題を解く鍵は要配慮者の個別計画にあると考えています。その中で、様々なその方の情報があることによって、負担などを軽減できると考えています。第一に、個別計画の精度を上げていきます。

バリアフリーマスタープランの作成は？

問　バリアフリーマスタープラン作成に向けた取り組みと作成の方向性を伺う。

答　近年の取組として、バリアフリー法や関連法制度について、国が主催する説明会等に参加し、情報収集を図っています。

また、本市のバリアフリー方針は、都市計画マスタープランで示しており、具体的な事業を実施する際に、バリアフリー化を進めていきますので、現時点ではバリアフリーマスタープランを作成する予定はありません。

問　バリアフリーマスタープランには、民間事業者にバリアフリー化を促す効果というのもある。民間事業者にもバリアフリー化の一定の法的な拘束力があり、地域全体のバリアフリー化も進むのではないか。

答　バリアフリーマスタープランがなくても、例えば、駅東口に民間施設を誘致させていただく場合、バリアフリー法令に基づくバリアフリー対策の協力依頼をしていきます。

小学校におけるフッ化物洗口について



渡邉　広美

公明党

問　1歳～就学前のフッ素塗布、中学校のフッ化物洗口が希望者へ行われているが、永久歯へ生え替わる時期こそ継続的な予防が重要であり、小学校を対象としない理由について伺う。

答　全中学校で希望者へのフッ化物洗口を開始したところであり、小学校では給食後の一斉歯磨きなど虫歯予防に努めています。近隣自治体の状況を注視し研究します。

問　埼玉県健康長寿課によると、フッ化物洗口は歯磨きだけより虫歯抑制効果が高く、歯の形成期に有効であり、集団的に行うことで健康格差の解消につながるとされている。学校歯科医との協議について伺う。

答　現時点で協議はしていませんが、今後検討していきます。

問　歯科医師会が同じ上尾市は、小学校16校、中学校5校で行っています。今後モデル校の実施について伺う。

答　まずは中学校の実施状況や効果、検証をしていきます。

生命の安全教育・ユースクリニックの取組について

問　小中学校での生命の安全教育について伺う。

答　小中学校では年間指導計画に位置づけ、自分や相手の命を尊重することや、自分の体と心を大切にし、性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないよう指導を進めています。

問　幼児期の生命の安全教育について伺う。

答　公立保育所は、保健師が絵本を通し、プライベートゾーンを守り見せないことなどの方法を教え、自分は大切にされる存在であることを伝えています。

問　ユースクリニックは、性に関する悩みや心の悩み人間関係など若者を支援することにある。県内の開催事例では、性被害、いじめなど深刻な問題につながるケースもあり、単なる健康相談の場ではなく、若者のSOSを早期に発見し、必要な支援や医療につなげる窓口としての役割を果たしている。実施する考えを市長に伺う。

答　若者の孤立や悩みを早期に把握し、医療や支援につなげるユースクリニックの意義は大きいと考えており、モデル実施を含め、今後、検討してまいります。

議員名の下にＱＲコードを掲載しました。スマートフォンなどのアプリで読み取り、各議員の一般質問を映像でご覧いただけます。

不妊治療への経済的支援



榊　萌美

おけがわ未来

問　県内では33自治体が不妊治療費の独自助成を行っている。妊娠、出産への希望を切れ目なく支える観点から、本市でも現在支援のない不妊治療の治療段階にも、経済的支援を検討するべきと考えるが、見解を伺う。

答　不妊治療が保険適用になったことが、7割補助という見方もあるが、少しでも経済的な不安を解消し、前向きに治療と向き合っていただくという視点もあり、支援のない治療段階における経済的支援については、制度設計や財源確保について今後研究します。

問　人口規模が近い自治体の制度内容や利用実績、事業費などを参考に、対象となる治療、助成上限、回数など一定のモデルを設定し、本市で実施した場合の概算事業費と市の負担額を試算し、制度導入の可能性を検討するか、伺う。

答　人口規模が近い自治体の一部から、事業規模や必要経費なども伺っています。持続可能な制度設計と財源確保の見通しも含めて、今後検討してまいります。

より利用しやすい産後ケアへ

問　産後ケアは出産数おおむね3割が利用するまで広がっている。今後の事業評価と制度改善につなげるため、産後ケア利用後、簡易アンケートの実施に向け、具体的な方法を検討するか、伺う。

答　今後アンケートを含め、利用者ニーズの把握に努め、よりよい制度の維持構築を図ってまいります。

問　宿泊型、デイサービス型、訪問型は、それぞれ利用できる対象期間やサービスの役割も異なる。3類型合計7日という現在の利用条件について、利用者ニーズや利用実績、提供体制、国、県の補助制度、市の追加負担などを踏まえ、本市の実情に合っているか検証し、必要性が確認された場合、制度の見直しを検討するか、伺う。

答　既に利用されている方の多くが7日間利用しており、枠を拡大することで利用が増えると考えています。補助を活用して枠を拡大するには、国県の補助対象基準の見直しも必要となることから、機会を見て、国や県に制度の見直しを要望してまいります。

公園で、花火や自転車の練習ができるように



近本あんな

立憲、国民、無所属の会

問　公園でのボール遊びができない、自転車の練習をさせられない、という声がある。公園のルールを伺う。

答　花火、ボール遊び、自転車の乗り入れは禁止しています。ペットの同伴は可能です。

問　現在のルールが策定された背景について伺う。

答　公園内の行為については、桶川市都市公園条例や施行規則により規定されています。

花火は、夜中に騒いでいる状況や、燃えカスが園内に放置されている状況を確認しており、禁止としています。

ボール遊びは、他の公園利用者への安全や、近隣にお住いの方への配慮から、禁止としています。

自転車の乗り入れは、接触等による事故を防ぐため、指定された場所以外への車両の乗り入れを禁止しています。

問　自転車の練習は「指定された場所以外への乗り入れ禁止。」という事は、あらかじめ利用できるエリアを指定すれば良いのではないか。

答　今後、公園の整備をする際には、自転車練習が行えるような場所も含めて、検討してまいります。

問　花火は、条例では市長の許可があれば可能となっている。花火をしたいときは市に申請をするようにしてはどうか。見解を伺う。

答　埼玉県内でも戸田市や朝霞市などは、花火ができる場所と時間、花火のルールを定めて、公園内での花火に対する許可を出しています。今後、先進事例を調査研究するとともに、条件の整理を行うなど施行に向けて検討してまいります。

小学校のプール授業の民間委託を、早急に進める

問　川田谷小と加納小のプール授業はスイミングスクールで実施している。他の小学校の、民間委託のスケジュールを伺う。

答　各学校の児童数と民間施設の受入体制を調整しながら実施に向けて準備しています。

その他の質問

■駅西口に学習スペースがない。拡充を。

■子どもたちの「自己尊厳」と「自主的な学び」を育む

一般質問

一般質問の内容については、議員本人が編集したものです。

南小跡地　コンサルに任せず、企業の柔軟なアイデアを募集すべき



北村あやこ

ともに生きる会

問　今年度の導入可能性調査は、前年と同じ八千代エンジニアリング㈱が受注し、3案を基に検討となっている。方向性が決まっているのではないか。まず、優秀な企業の募集を求めるのが、第一歩ではないか。

答　3案は、たたき台で、今後、市場調査を行い、柔軟に民間企業からの提案をいただきたいと思います。

問　ホテルなどの経済効果はたった1億円、業種では15位だ。市は何を求めているのか。

答　今後、駅前の立地性を最大限生かし、経済波及効果は、進出企業を決める大きな要因と理解しています。

　民間の自由な発想を妨げない形で、最終的には、事業者の提案も受けるという思いで、進めていたいと思います。

コンサルの選定は、ガイドライン違反

問　南小の調査、施設計画は、プロポーザル方式でコンサルを選定した。選定委員はなぜ職員だけで、採点を2倍、3倍にしたのか。

答　概略検討案を支援する建設コンサルタントを選ぶため、市職員で構成し、重要度に応じた評価にしました。

問　総務省・国交省のプロポーザル方式運用ガイドラインは、「評価基準を明らかにし、公正、透明・競争性向上のために、学識経験からなる審査委員会で審議する」とある。これに違反し、しかも、八千代エンジニアリング㈱1社のみの応募ではないか。

答　ガイドライン通りにやらなければならないものではない、と認識しています。競争の確保は、今後の課題と真摯に受け止めています。

すみやかな行政評価をすべき

問　昨年、今年と納税賦課の誤りは、何件あったのか。

答　令和6年度6件103人、7年度6件200人に影響がありました。

問　南小でもガイドライン違反、鴨川保育所は業者の見積書でそのまま契約し、税金だけで237万円無駄になった。速やかに行政評価を導入していただきたい。

答　各部各課が事業を検証するのは、課題の早期把握、事務処理の誤りの削減につながります。市民生活を鑑み、検討したいと考えます。

違法建築物から地域の安全を守るための未然防止策と関係機関との連携について



須山陽一朗

無会派

問　近隣市で大規模な違法開発が長期化する事案が発生した。本市でも初期に兆候を察知し、毅然と対応する体制が必要だ。初期の異変を把握するため、自治会等と情報共有する仕組みを構築すべきと考えるが見解を伺う。

答　今後は自治会に対して、初期の兆候や相談窓口を示した資料を配布するなど、地域との情報共有の方策を検討します。

問　時間稼ぎを狙うような是正計画が出された場合、短い期間でのやり直しを求める対応が可能か伺う。

答　その期間について客観的で合理的な理由がない場合は、より短い期間での計画の再提出を求めます。

問　悪質な事案に際して職員の安全を守るため、初期段階から警察と情報共有や現場同行のルールを設ける考えはないか伺う。

答　状況に応じて警察と情報共有を行い、現場への同行や立会いを要請してまいります。

いざという時に命を守り合う「自助・共助」の推進と実践的な避難所運営委訓練について

問　今年1月の地域防災訓練では、市職員がリードする役割を担った。市民が主体となる体制移行へ向けた最大の課題は何か、伺う。

答　市職員が進行や指導に加わったことで、参加者が主体的に運営に加わる形にならなかったことが最大の課題であると、捉えています。

問　災害時の避難所運営は市民が主体となるべきである。見学中心の防災訓練から、市民が実際の受付や設営等を担う実動訓練へ移行するべきと考えるが、見解を伺う。

答　実際の災害を想定し、市民が主体的に実動として参加することは有効と考えています。今後の訓練では市民が担う部分を増やし、主体的な取組につながるよう努めます。



議員名の下にＱＲコードを掲載しました。スマートフォンなどのアプリで読み取り、各議員の一般質問を映像でご覧いただけます。

宿場町の歴史的景観を活かした町並みの再建に期待！



渡辺　まや

新政会

問　中山道に歴史的な町並みを再現する上で、電線類の地中化や、歩道整備が不可欠であると考えるが、市内区間の中山道の現況を伺う。

答　中山道は、歴史的な町並みを形成する重要な道路であり、整備の必要性を市も認識しています。本市区間の中山道は延長2,140メートル、その一部区間の整備を県が行っていますが、残り区間の事業化の予定はない、とのことです。

問　桶川宿の再建があってこそ、ふるさと館や道の駅、今後の東口駅前や南小跡地も生きてくると思うが、計画の実現に向けた一歩として、景観条例や地区計画の制定に向けた協議や調査を実施できないか伺う。

答　文化財建造物の所有者やその周辺の権利者の皆様の意向を把握することと、景観条例や地区計画の制定は、市としても重要であると認識しています。そのためには、駅東口駅前広場や南小跡地等の施設整備をし、景観保全の重要性に対する意識を醸成しながら、検討を進める必要があると考えています。

飼い主のいない猫（野良猫）の不妊去勢手術費用の補助について

問　過去3年間の譲渡会の、猫のみの譲渡成立数と、そのうち桶川市内で保護した猫の頭数を伺う。

答　譲渡数は令和5年度が2件、令和6年度及び7年度は成立に至らず、桶川市内で保護した猫の頭数までは把握していません。

問　近隣自治体では、不妊去勢手術の支援や事業を実施しているが、なぜ本市は依然として消極的なのか、伺う。

答　飼い主のいない猫の不妊去勢手術は、繁殖を抑制する手段の一つであると認識していますが、猫の生命や健康への配慮、考え方の多様性にも配慮し、これまで慎重に対応しています。

問　本市の適正飼育の周知啓発、譲渡実績、県との連携状況を鑑みて、人間の生活圏で生じる猫問題や、繁殖して不幸な猫が増える状況は今後も変わらないのではないかと思うが、補助事業の可能性はないのか。

答　引き続き慎重に判断せざるを得ない状況であり、今後も関係機関と連携し、譲渡会などを通じて、殺処分ゼロに向け取り組んでいきます。

パブリック・コメントを募集します　詳しくは⇒議会事務局☎788-4964

条例名	①桶川市議会基本条例 ②桶川市議会議員政治倫理条例
内容	①桶川市議会の活動における基本原則及び議会運営の基盤となる事項を定め、議会の役割を明確にすることを目的として、制定します。 ②桶川市議会議員が、市民の厳粛な負託を受けた存在として、自らを律する共通の政治倫理に基づき、高い倫理観と良識を持ち、市民との信頼関係を築き、ともに公正で民主的な市政の発展に寄与するため、制定します。
閲覧・意見募集締切	11月19日（木）
意見を提出できる人	次のいずれかに該当する方が対象です。①市内在住・在勤・在学の人②市内に事業所などのある人③本市に対して納税義務がある人④この案に利害関係がある人
閲覧場所	議会事務局、情報公開コーナー、市ホームページ
提出方法	必要事項を記入し、直接持参、郵送、FAX、またはメールで担当部署へ。
提出先	議会事務局、郵送（〒363-8501 桶川市泉１－３－２８）、 FAX（７８７－５４１０） メールアドレス（gikai@city.okegawa.lg.jp）
提出された意見の取り扱い	市議会の考え方などを踏まえて整理し、市ホームページなどで公表します。

意見交換会について

市議会の総務常任委員会及び民生経済常任委員会は、所管事務に関して、市内の団体と意見交換会を実施しましたので、ご紹介します。

【総務常任委員会】

団体名：桶川市自治会連絡協議会
テーマ：新自治会制度の現状と課題について（7/27）



委員長報告より

・役員の高齢化と担い手不足、また現役世代が参加しやすい環境づくり等が課題とされる中、活動内容を時代に合わせて見直し、若い世代が参加したくなる行事を企画すること等が重要との意見があった。

・自治会ごとに加入率や高齢化、住宅事情、担い手の状況が異なるため、市としても一律の施策ではなく、地域特性を踏まえた支援策の検討が必要である。

【民生経済常任委員会】

団体名：桶川市畜産振興協議会
テーマ：本市畜産振興の現状と課題について（7/27）



委員長報告より

・物価高に伴い、飼料価格や電気代が大幅に上昇している。
・乳量への影響を避けるため、24時間継続して扇風機を稼働せざるを得ないなど、光熱費の負担が経営を圧迫している。
・「労働時間が長く、休みがとりにくい」という労働環境が、後継者育成の大きな障壁となっている。
・市内の酪農経営が衰退した場合、これまで牧草地として活用されていた畑が管理されなくなり、遊休農地が増加することが強く心配される。

上記の課題があることを各委員会において受け止めました。

表紙の写真を募集中!!






『おけがわ市議会だより』の表紙に市民の皆様からの写真を募集します。
応募規定など詳しくは、隣のQRコードをスマートフォンのカメラで読み取って、ご確認ください。

議会インターネット中継は、市ホームページから市議会の議会中継を検索いただくか、次の検索方法又はＱＲコードから検索してください。

桶川市議会スマート中継　検索



定例会のお知らせ

12月定例会は12月１日（火曜日）９時30分開会で、会期日程は以下の予定で調整中です。
（※都合により変更する場合があります。）

［会期日程（案）］

12月1日	開　会　日
4日・7日・8日	常任委員会
9日~11日・14日	一　般　質　問
16日	閉　会　日

桶川市議会では、ボランティアの皆さんのご協力により
声の市議会だより（紅花の会）
点字版市議会だより（点字レモンの会）を作成しています。
利用を希望される方は、議会事務局までご連絡ください。
ＴＥＬ７８６－３２１１（代表）
７８８－４９６３・４９６４（直通）

９月議会本会議傍聴者数 インターネット議会中継閲覧数

月日	8/27	9/1	9/11	9/14	9/15	9/24	合計
傍聴者（人）	1	2	8	8	27	2	48
閲覧数	170	1,018	635	551	663	1,205	4,242

編集後記

議員の資質が問われる時代になりました。

今、桶川市議会も議会基本条例と議員政治倫理条例の制定に真剣に取り組んでいます。

市と一線を画し、市政の監視や提言する立場を貫くには、どうあるべきか、議論を重ね、条例案を作りました。

11月のパブリックコメントで、皆様の声を受けとめ、より良いものに修正してまいります。多くのご意見をお待ちしています。

（北村）

議会だより編集委員会

委員長　佐藤　洋
副委員長　榊　萌美
委員　仲又　清美
委員　渡辺　まや
委員　砂川　和也
委員　北村あやこ
委員　近本あんな
委員　岡安　政彦

第20回
議会報告会
桶川市議会

市民の皆さまの
ご参加を
お待ちしています！



日時
令和8年
11月14日（土）
午後2時～

会場
桶川市民活動サポートセンター
（ベニバナウォーク1階）

申し込みは不要です。
直接会場にお越しください。

報告内容

1　令和8年度の主要事業

2　各常任委員会からの報告　総務常任・民生経済常任・建設文教常任

3　議会基本条例・議員政治倫理条例についての説明

4　川島桶川資源循環組合議会の報告



主催：桶川市議会

問い合わせ：桶川市議会事務局
048-786-3211